

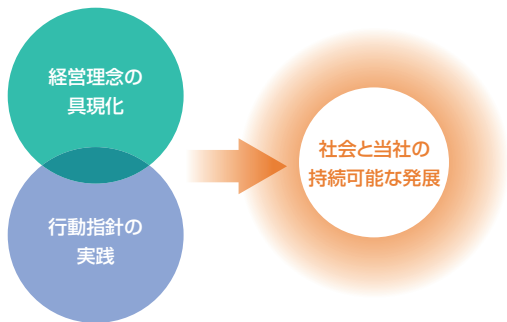
CSRマネジメント

当社では2004年4月にCSR推進部を設置し、2005年4月にCSR経営のマネジメントシステムを規定する「CSR要綱」を制定しました。この中でCSR経営を進める目的と基本方針とともに当面の重点課題と推進体制を定めています。

CSR経営の基本方針

CSR経営の目的

経営理念を具現化し、行動指針の実践に関する基本事項を定め、当社が事業内外において社会的責任に則った活動を推進し、社会と当社の持続可能な発展を追求することです。



CSR経営推進の基本方針

CSR経営を推進するための基本方針として、以下の6項目を挙げています。

CSR経営推進の基本方針

- ① 当社の経営理念・行動指針を踏まえ、目指すべき理想のCSR経営を明確にし、CSRに基づいた事業活動の進展を図る。
- ② コンプライアンスを最重視する企業風土を醸成し、全役員・従業員が常に主体的に最適な判断を行うことを志向する。
- ③ 環境保全・人権擁護・地域貢献等が当社の社会的使命であると認識した経営を行う。
- ④ CSRの重点課題について、積極的に取組み、適正な優先順位付けと資源配分を行う。
- ⑤ CSR経営の推進状況を踏まえ、ステークホルダーに対して適切な情報開示・コミュニケーションを実践し、信頼関係を構築する。
- ⑥ CSR経営推進を当社グループ全体の活動として位置付け、グループ企業全体に周知徹底する。

CSR経営の推進体制

CSR経営を推進する体制として、2005年4月に取締役会直属の「CSR経営委員会」を設置しました。CSR経営委員会は社長を委員長として全取締役がメンバーとなり、全社CSR実施計画等の重要事項の審議と実施状況のレビューを行なっています。

CSR経営委員会の傘下には10の専門委員会があります。各専門委員会は担当役員が委員長を務め、最も関連が強い部署が事務局となっています。各専門委員会では、年間活動計画を策定して活動を推進しています。

■ CSR経営の推進体制 (CSR経営委員会と専門委員会)

